

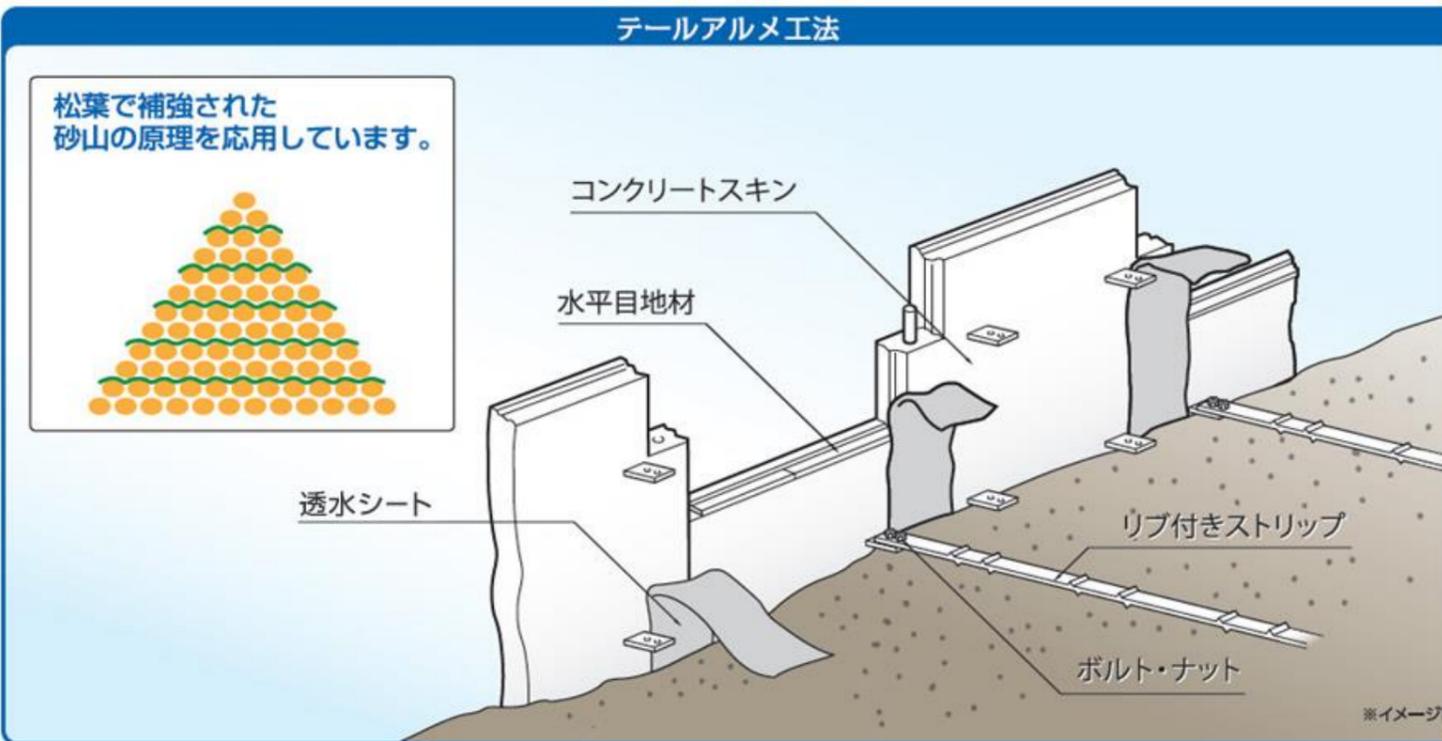
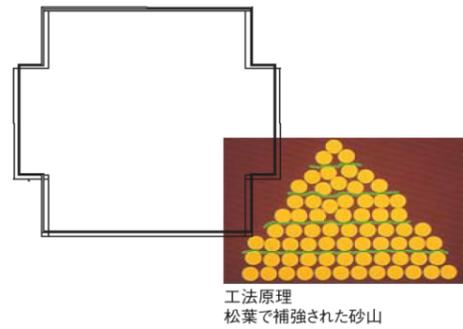
補強土壁工 概要書

補強土壁=テールアルメ工法

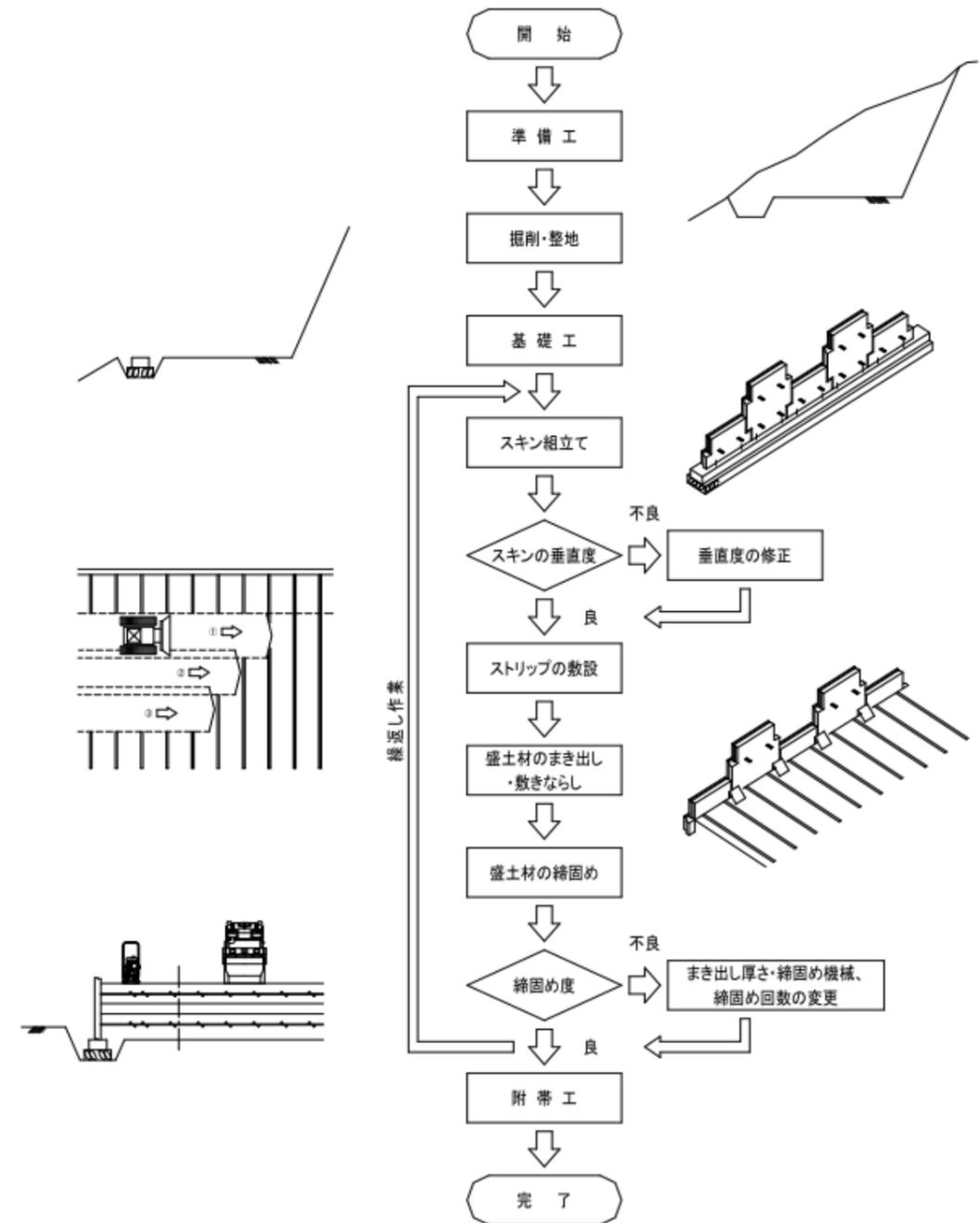
テールアルメは、フランスで1963年に開発された、鋼材を使用して土を補強し、垂直盛土を構築する工法です。高い垂直盛土が構築可能な為、土地の有効利用が実現できます。日本では、導入以来様々な改善改良が加えられ一般工法として定着しております。その実績は、33年、800万m²になります。

●主な特長

- ①垂直盛土の為、最低限の用地幅ですみ、土地の有効活用が可能。
- ②規格化されたプレハブ工法の為、熟練工や特殊技術不要。
工期短縮可能。
- ③フレキシブル構造により基礎地盤への荷重は等分布。
より広範囲な地盤条件に適用可能。
- ④規格品の組み合わせが大半な為、静かな工事環境を実現。
- ⑤様々な環境用途に併せた対応可能。カラスキン・
デザインスキン・多段積み・塩害対策など。
- ⑥部材は、日本テールアルメ協会認定工場で作製される規格品。



● 施工手順



● 施工状況

基礎整地



スキン設置



ストリップ取付



土のまき出し



転圧



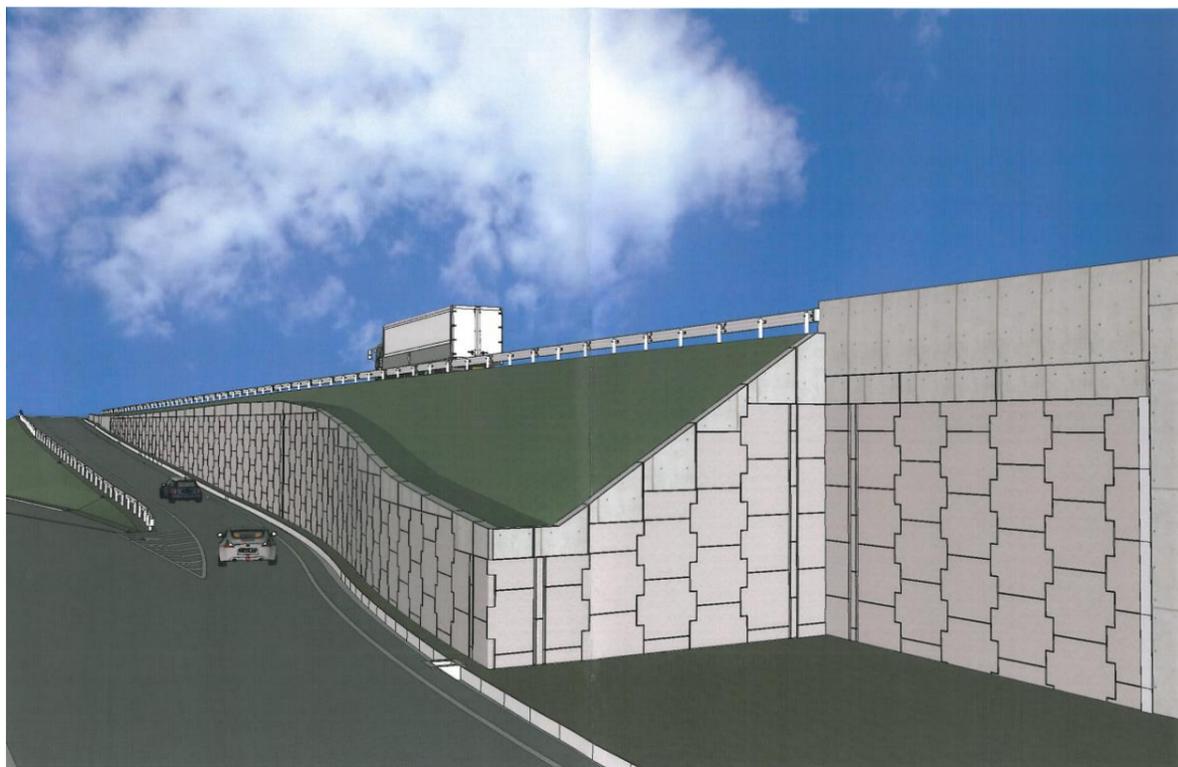
締固度検証



● 施工状況（上空写真）



● 完成予想図



● 標準横断図

